



地域日本語支援ニュース こだま 第 411 号

2021.10.28



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部: <https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

==== 目次 =====

1 ■ AJALT からのお知らせ(1) ■

『こだま』のバックナンバーを AJALT ホームページに公開しました

2 ■ AJALT からのお知らせ(2) ■

AJALT の著作教材を活用した

「日本語教師のための教え方講習会 (オンライン)」開催のお知らせ

3 ■ 進学進路ガイダンス情報 (2021 年) ■

=====

1 ■ AJALT からのお知らせ(1) ■

『こだま』のバックナンバーを AJALT ホームページに公開しました

「月に 2 回、真夜中にパソコンにひっそりと届くメールマガジン『こだま』。夜が明けてメールを開くと、在留外国人の方が書かれた、胸に迫る記事が目飛び込んでくることがあります。」(2018 年度こだま第 338 号より引用)

メールマガジン『こだま』は、今から 18 年前、2003 年 6 月に次のメッセージとともに走り出しました。

「2001 年から始まった文化庁委嘱事業『日本語ボランティア活動支援・推進事業』の一環として、全国の日本語支援者の方々に有益な最新情報を提供するこ

とを目的に、メールマガジンを発刊します。日本語支援の関係者に限らず、他分野から連携して支援している方々にもホットな情報をお送りし、情報共有の橋渡しとなるようなメールマガジンを目指したいと考えています。」(2003 年度第 1 号より引用)

時を経て、各地で活動される支援者のご寄稿、また在留外国人ご自身の声もお届けできるようになりました。おかげさまでこの春、第 400 号を配信しました。このように号を重ね、多くの方々にお読み頂くようになりましたのは、皆様のご協力とご理解があつてのことと編集部一同感謝しています。日本各地で活動していらっしゃる皆様からの貴重なご寄稿とご意見は『こだま』の大きな財産です。

さて、こだまのバックナンバーは配信会社「まぐまぐ！」サイトで長年にわたり閲覧できましたが、2019 年春に公開が停止されました。2021 年春、AJALT ホームページにて 2020 年度に配信した 21 記事のバックナンバーを公開しました。そしてこのたび、2019 年度から 2012 年度の記事を HP に公開しました。

中でも近年、反響の大きかった『中 2 のカルロス』(2017 年度第 334 号)は、今回、ご支援者のご協力をいただき新たに英語版、中国語版を追加しました。ご寄稿者の上村(うへむら)カルロスさんは現在、旅行会社で中南米と日本の懸け橋となつてご活躍中です。また、外国ルーツ青少年に向けたキャリア教育支援活動、そしてメディアでもご活躍中です。14 歳(中学 2 年生)の時にペルーからお父様と来日し、成長期に多くの葛藤を経験し、それを乗り越えて見えたこと、伝えたいことを綴ってくださっています。翻訳版も日本語版と合わせてぜひご活用ください。

また、AJALT の教師がお答えする日本語教育相談も所々に登場します。ご参考になりましたらとても嬉しいです。

さて、『こだま』という名称について命名に込められた思いを、このたび提案者に聞いてみました。

「『こだま』という名前は、メルマガを発信して一方通行に終わらず、読者からの声が、やまびこのようにこだまして、こちらに返ってきたらいいなと思い提案しました。」

「『こだま』のように呼応しあつて、地域の草の根で活動する皆さまが出会い、共感し、励まし合い、繋がっていければというのが、私ども AJALT の願いで

す。」(2012 年度第 208 号より引用)

また、次の思いも込められています。

「地域における外国人支援活動は、『スローフード』という言葉が表す考え方と相通じるものがあると思います。この考えは、ゆったりとした時間の価値を認め、人間と自然を尊重し、人々の豊かさを育み、共生の場づくりを行い、多様性を認め合うことを大切にする生き方につながるものでしょう。新幹線の『のぞみ』や『ひかり』が象徴する『ファストライフ』よりも、『こだま』のように各地域をひとつひとつつないで、大きなネットワークを作りたいという気持ちも込められています。」(2004 年度第 18 号より引用)

これからも皆様の声に耳を澄ましなが、メルマガ『こだま』を通して各地域が繋がって大きなネットワークが広がりますよう情報を発信してまいります。

なお、バックナンバーはメイン記事のみの掲載といたしました。『こだま』は毎号記事がいくつかありますが、記事 2 以降はほとんどがお知らせ記事となっています。情報が古くなっているため割愛しました。ご了承ください。

下の URL をクリックすると、AJALT のホームページ内の『こだま』のページが開きます。中央に「バックナンバーはこちら」の青い文字がありますので、そちらをクリックしてご覧ください。

URL : <https://www.ajalt.org/news-kodama/>

それでは秋の夜長、数々の記事をゆったりとお楽しみください。引き続き『こだま』をどうぞよろしくお願いいたします。

こだま編集部

---